

ながと 地域医療情報紙

3号

平成25年2月1日発行

長門医療圏地域医療再生計画推進協議会

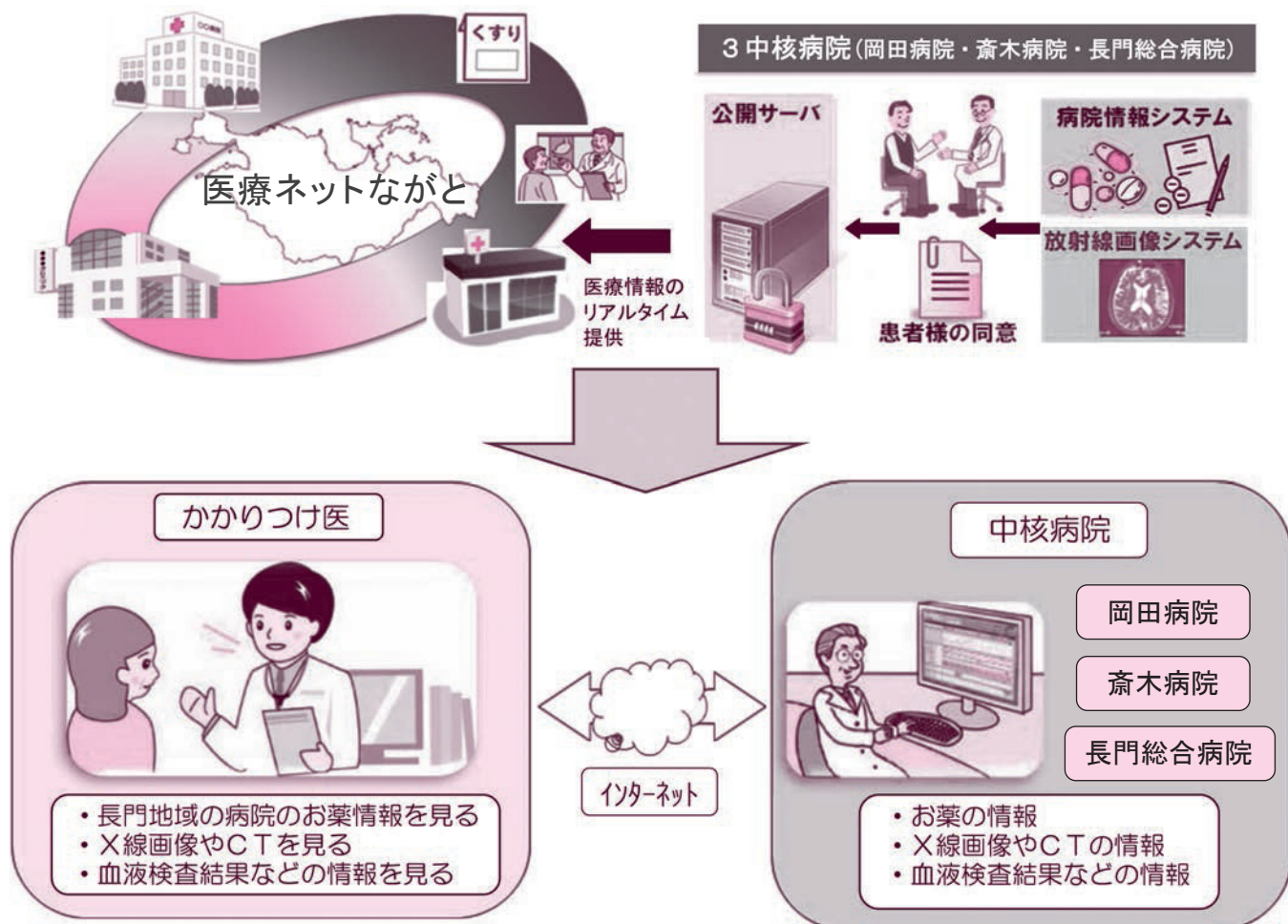
適切な医療受診啓発部会

「医療ネットながと」運用始まる！

地域医療情報連携システム「医療ネットながと」の運用が平成24年10月10日から始まりました。この情報システムは、長門市の中核病院（岡田病院、斎木病院、長門総合病院）の医療情報をネットワークで共有することにより、他の病院・診療所において、これらの医療情報を参照することが可能になります。

これにより、重複検査の回避や薬剤の重複投与の回避、患者の禁忌・アレルギー情報の共有等による安全性の向上などが図られます。（システムの詳細については次ページ）

現在は、岡田病院の医療情報のみの提供ですが、今月中に長門総合病院、来月末からは斎木病院の医療情報の提供が可能になる予定です。



「医療ネットながと」の概要

「医療ネットながと」は、レントゲン写真やお薬などの医療情報を長門地域の病院と診療所（かかりつけ医）で共有し、正確な情報に基づいた質の高い安全な医療を行うためにつくられました。

1 システムの概要

①参加医療機関

23 医療機関

（3 中核病院、3 病院、17 診療所）

②連携する情報

・ 患者基本情報

（ID 等基本情報、アレルギー情報等）

・ 診療歴情報

（診療歴、薬歴、検査歴、画像歴）

・ 処方情報（投薬・注射）

・ 検体検査情報（血液、尿等検査）

・ 画像情報（X線、CT等画像）

③医療機関毎への個別お知らせ機能

・ 紹介状や医療情報のお知らせ

2 導入のメリット

①患者サービス向上

・ 重複検査回避

・ インフォームドコンセント（医療行為の説明と患者の同意）の質向上

・ 検査待ち、入院待ちの期間短縮

②安全性の向上

・ 薬剤重複投与回避

・ 禁忌・アレルギー情報の共有

・ 診療情報の集約による正確な診療

③医療の質向上

・ 他院の診療情報を参照することで医師が実践的な最新医療を習得など

長門地域の病院で行われた診療内容がインターネットを介して紹介元のかかりつけ医から見るができます。長門地域の病院での治療内容や検査結果を、皆様に説明することができ、今後の治療に活かすことができます。

かかりつけ医がインターネットを介して診療内容を見るためには患者の同意が必要となります。

問1 私の医療情報が勝手に見られるのですか？

答 医療情報を参照できるのは患者さんがこのシステムへの参加を同意された場合に限りです。同意は診療所と病院毎ですので、同意のない診療所や病院からは見ることはできないようになっています。

また、医療情報は、システムの運営規定で、患者さんの治療等医療目的以外に使うことを禁じています。

なお、同意の手続きは、かかりつけ医から説明することとなっています。

問2 患者の個人情報のセキュリティ（安全）対策は大丈夫なのか？

答 専用のパソコンを用意し、他の用途での利用を禁止するとともに、インターネットもこのシステム以外のサイトには接続が行えないように設定してあります。

また、各パソコンやサーバにはウィルス対策ソフトを導入しています。

さらに、中核病院と診療所間は双方ともにファイアーウォールを設置して、外部からの侵入を防御し、通信についても秘匿・暗号化を行っています。

地域医療を守るための提言

③

夕張の地域医療再生に尽力されている
村上智彦 先生が熱く語った

村上先生の講演内容をシリーズで紹介します。

医療の充実と寿命は関係ない

日本人の平均寿命は男性が 79 才、女性は 86 才。男性は世界 3 位 女性は世界 1 位。両方合わせて、日本は世界一の長寿国です。

では、日本で一番長生きの地域は、どこだと思いますか。日本で一番長生き、13 年連続がんで死ぬ人が一番少ないのは長野県です。

皆さんに考えてほしいのですが、病院の数、お医者さんの数、高度先端医療の数が日本で一番多いのは東京都ですが、日本で一番長生きの地域を聞いたとき、なぜ東京都と答えなかったのでしょうか。

要は医療の充実と寿命は関係ないということです。

長生きしよう！ 健診を受けよう！

長野県は、1 つの村に医療機関のないところもあります。何が違うかというと健診の受診率が、ばか高い。例えば佐久市というところは、健診の受診率は 8 割。だからですよ。

医療費が一番安い地域わかりますか。簡単です。長野県です。長野県の一人あたりの医療費は年間 60 万円くらい。国平均は大体 80 万円くらいです。日本一医療費の高いのは北海道。北海道が 100 万円くらいです。

長野県と北海道では、一人あたり 40 万円の差がある。でも医療費の高い北海道の平均寿命が長い訳ではないのです。



村上智彦 医師

専門：地域医療/予防医療/地域包括ケア

できる！ 長門市も長生き日本一



健診を受ける人は、受けない人より長生きです。どうしてだと思いますか。

健診を受ける人というのは、元々体重や食べ物を気にしたりして、健康意識が高い。それだけで病気が減り、寿命が延びるんです。何も考えないで、お任せにする人は寿命が短いということです。大きな病院や高度な医療をと言う人に限って、ちゃんとやっていない。

人も物もお金もなくとも住民の健康意識が高かったら、日本一長生きな地域を作れるんです。それを長野県が証明しています。住民が考えないかぎり、いくら立派な病院を作っても絶対に無理です。

長門市の健診の受診率が日本一になったら、かなりの率で日本一長生きな地域が出来ます。

健康とは何でしょう？

WHOは「健康とは肉体的、精神的、社会的にいい状態で、単に疾病又は病弱の存在しないことではない。」と定義しています。

簡単に言うと、たとえ年をとって高血圧や糖尿病の病気があったとしても、その人が元気で

生きがいがあって仕事をしてたら健康なんです。

うちの診療所に「先生、健康にして」と来られますが「僕は病気を探るのが仕事。健康にするのは、あなた自身の問題だよ。」と答えます。

健康は自分で守るもの

日本一長生きの長野県では「ピンピンコロリ運動」をやっています。元気に長生きし、周りに迷惑をかけないでコロリと逝く。そのために予防し健診を受け、出来るだけ病院にかからないように、生きがいを持って生活していく。医療は手段です。何か仕事をする、孫の成長をみる、庭仕事をする、そのために仕方なく医療を受けるんです。

医療を目的にすると、病気は増えても、健康にはなれません。

食べ物と生活習慣で減らせるがん

食べ物と生活習慣で、がんは半分は減らせるだろうというのが、ハーバード大学の所見です。がんを防ぐ生活習慣として、野菜・果物を1日400g以上食べる（野菜は毎食、果物は毎日）。塩分は最小限にし（1日9～10g以下）定期的な運動をする（毎日合計60分を目安に家事をしたり、歩いたりする）。太り過ぎない、痩せ過ぎない。口腔の細胞の炎症を招く熱い食品は最小限にする。アルコールと喫煙の習慣が重なるとがんリスクは高くなります。

最近、若い世代に乳がんが増えています。動物性脂肪を多量に摂取すると乳がんが3倍に増えます。逆に魚を多く食べる人は、あまり食べない人に比べ、乳がんにかかるリスクが4割以上低いことがわかりました。

がんセンターがないから、がんになるとかいう問題じゃないんです。がんは、かなり予防で

きるということです。

日野原先生の長生きの秘訣

去年、聖路加国際病院の日野原先生（100歳）に長生きの秘訣を聞きました。

「①食べすぎない、②よく動く、③くよくよしない、④生きがいを持つ。これが長生きの秘訣4つ。僕が言うのだから間違いはない。」と言われます。そして「僕はね、MRIを1回も撮ったことない。」と。何百回CTスキャナで頭の写真を撮っても脳卒中の予防にも治療にもなりません。

大事なのは、タバコを吸わないこと、血圧をちゃんと下げること、水分をちゃんと摂ることです。

自分で考える人生の終末



健康は、病院に行って守るものじゃないんです。実際、なぜ皆さんが病院がないと命にかかわると思うかということ、昔は感染症が多かったので、確かに病院で医療を受けて死ぬ率が高かったからそんな印象が残ってますけど、今は、生活習慣病でしょう。要は、それこそ長野県の人達みたいに病院のない村があっても日本一長生き、日本一医療費が安い、がんも少ない。その代わり健診をちゃんと受けているんですよ。

健康には、食事や運動、環境が大切で、本人の意識に大きく左右されます。健康意識が高く、予防接種・健診等の受診率が高い人達は長生きです。

病院の中で、管だらけになって人生を終わるか、自分で好きな仕事やってコロッと逝くか。自分の人生の終末をお任せでなく自分で考えることです。

以下次号に続く（次号発行予定 H25 年 5 月 1 日）

この情報紙へのお問い合わせ・ご意見等がありましたら下記へお願いします。

■ 編集事務局 長門市市民福祉部健康増進課 TEL 0837-23-1132

※この情報誌の既に発行されたものは、市のホームページに掲載しております。

URL:http://www.city.nagato.yamaguchi.jp/kurashi/welfare/chiikiiryo_torikumi.html

E-Mail: kenkokikaku@city.nagato.lg.jp